



グルメショー秋2024に参加

9月4日(水)から6日(金)までの3日間、東京ビッグサイトで開催された「グルメショー秋2024」に参加しました。会員事業所4社が出展し、全国から約31,000人が来場。試食や商品説明を通じて自社製品をPRし、4社で約450枚の名刺が交換されるなど活発な商談が行われました。展示会は新たな商談や取引の入り口として重要な役割を果たし、その後のやり取りを通じて成約に至る事例も多く見られました。

来場者からは、味やデザインに高評価を受ける一方、価格や賞味期限に関する改善提案もあり、今後の課題が浮き彫りになりました。また、商工会によるブース装飾や費用補助の支援が好評で、初めての出展者も安心して取り組むことができました。

商工会は、地域企業の成長と販路拡大を目指し、今後も展示会への参加を支援してまいります。



秋の湖北フェア開催

令和6年度の経営発達支援計画に係る「新たな需要の開拓に寄与する事業」の一環として、イオン長浜店とのコラボ企画『湖北フェア』(BtoC事業)を11月2日(土)から4日(月・祝)の3日間開催しました。期間中は、イオンのイベントと合わせて行うことで集客に努めました。

試食も実施し、多くの来店者に当商工会地域の商品を紹介できました。また、出店された8事業者様には、大手企業での販売ノウハウを学び、今後の販売戦略に活かすための貴重な機会になりました。



住まい・建築・不動産の総合展に出展

インテックス大阪で開催(令和6年11月7日/8日)された「住まい・建築・不動産の総合展」に、近畿圏への販路拡大を目指す(株)大翔(所在地:木之本町)様が出展しました。展示会当日には、(株)大翔様の強みである「ドローンを活用した3D測量技術」をブースに訪れる建設業者などに紹介し、今後の受注獲得に向けて積極的に営業活動を行いました。

この出展事業は、伴走型小規模事業者補助金を活用しており、専門



家(中小企業診断士)から展示会で成果を出すための事前指導と展示会出展後のフォローアップ指導を受ける取組となっています。



第15期実践ながはま・こほく創業塾

長浜ビジネスサポート協議会、長浜商工会議所、バイオビジネス創出研究会、長浜市と協力して、「実践ながはま・こほく創業塾」を9月3日から10月29日までの9回にわたって開催しました。

この創業塾は、地域経済の活性化を目的として平成26年から開催されています。湖北地域での創業を目指す方々に、経営戦略や資金計画、ビジネスプラン作成などを網羅したカリキュ

ラムを提供しています。

特筆すべき点は、中小企業診断士の資格を持つ商工会職員が講師を務め、実務的かつ実践的な指導を行ったことです。「ビジネスモデルの策定」や「マーケティング戦略の実行法」など、創業に重要なノウハウをわかりやすく学べる内容が大変好評でした。



新入会員紹介

長浜市商工会では新会員を募集しています。お知り合いの事業所で未加入の方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

事業所名	代表者名	業 種	支 部	部 会
京都グレインシステム株式会社 長浜工場	田宮 尚一	製造業	湖北	工業
	中川 宜子	コンサルタント業	特別	サービス業
株式会社Med-Bridge	田邊 理人	サービス業	湖北	サービス業
めぐり食堂	北川 誠	飲食業	高月	観光飲食業
	奥村 敏樹	サービス業	びわ	サービス業
山田昌宏行政書士事務所	山田 昌宏	サービス業	浅井	サービス業
上定建設	西嶋 重剛	建設業	びわ	建設業

(敬称略)

12月現在の会員数は、
1241事業所です。



女性部 事業報告

今年は10月4日(金)に県女連主催で「第12回近江いいことウォーク」が安土町で開催されました。雨の中、回りやすいコースのおかげで怪我もなく無事に終了。特に沙沙貴神社は評判が良く、楽しい散策ができました。

11月6日(水)には浜松市へ視察研修が行われました。『湖』という共通の観光資源を持つ浜松市が、環境資源や特産品を活用して観光客を誘致している様子を学びました。龍潭寺、浜名湖レイクサイドプラザ、はままつフラワーパーク、浜名湖グルメパークなどを巡り、部員同士の会話も弾み、大満足の研修となりました。



浜松市視察研修



近江いいことウォーク

青年部 こほくハロウィンフェスタ

10月26日(土)、奥びわスポーツの森でこほくハロウィンフェスタを開催しました。今年度は晴天に恵まれ、約12,000人ももの来場者が訪れ、まさに大盛況のイベントとなりました。ロードトレインに乗り込み、アスレチックバルーンで体を動かす子供たちの笑顔があふれていました。

さらに、はたらく車体験ブースでは実際の車両に触れたり乗ったりでき、子供たちの目がキラキラ輝いていました。

また、飲食ブースやフリーマーケットブースも大盛況で、おいしい料理やユニークなアイテムがずらりと並び、来場者はハロウィンの雰囲気を楽しむことができました。

大人も子供も仮装したり、青年部員がお化けの格好をしてグリラ的にお菓子を配ったりと、一日中わくわくが止まらない素敵なフェスタとなりました。これから地域の皆さんと一緒に、楽しいイベントを続けていきたいと思っています。



滋賀県商工会青年部連合会ソフトボール大会 決勝大会

10月31日(木)、竜王町のドラゴンハットにて滋賀県商工会青年部連合会ソフトボール決勝大会が勝ち進んだ8商工会で行われました。各試合の結果と最終順位は次の通りです。

栗東市商工会戦は粘り強く戦い抜き、21-8で勝利を収めました。多賀町商工会戦は連戦で疲れが溜まる中、拮抗した試合が続きましたが、後半に反撃のチャンスが訪れ、徐々に勢いを取り戻し、最後は15-5で勝利を飾ることができました。

決勝では、疲れが影響し、思うようにプレーできず、甲賀市商工会の強力なプレーに押されて7-20で敗北したものの選手たちは最後まで戦い抜きました。結果は準優勝となりました。最終順位は優勝：甲賀市商工会、準優勝：長浜市商工会、3位：愛荘町商工会となりました。



行政懇談会の開催

令和6年10月23日(水)に「長浜市との行政懇談会」を京岩ダイニングで開催しました。長浜市から浅見宣義市長様を始め、産業観光部の職員7名が参加し、商工会からは会長、副会長を含む役員17名と職員5名が出席しました。

この懇談会では、中小企業の人材不足解消への取り組みや、小規模事業者支援の強化、地域経済の活性化について幅広い意見交換が行われました。特に、中小企業の人材不足に関する具体的な解決策が議論され、多くの有意義な提案が出されました。

懇談の最後には、押谷商工会長から浅見市長様に要望書が手渡され、今後の地域発展に向けた具体的な行動計画が示されました。この懇談会を通じて、両者の連携がより強固になり、地域経済の発展に大いに貢献する結果となりました。



会長による

会員事業所インタビュー

第11回

株式会社大翔 代表取締役 吉田 隆義 様



長浜市商工会広報誌「ファイト!・エイトアップ」では、頑張っておられる会員事業所を広く知っていただくために商工会長による会員事業所インタビューを企画しました。第11回目は「株式会社大翔」にお伺いしました。

今回は、株式会社大翔 代表取締役の吉田隆義様にお話を伺いました。

御社の歴史についてお話しいただけますか？

株式会社大翔は、父が創業した吉田土建という建設会社の子会社として設立した会社です。パブルも弾け、一般土木業界で競合していくには、他社が取り組んでいない、法面工事に特化することで活路を見出そうと考え、平成18年に株式会社に組織変更し、現在は私が代表者として会社を経営しています。昭和の終わり頃の滋賀県の法面業界は、東京本社の大手法面専門業者が主流を占めていました。我々はそれらの下請に入ることで、その技術を少しずつ学びました。

少し時間が掛かりましたが、現在では法面工事における設計から施工・管理に至るまでの全てを内製化できるまでに成長出来ました。



道路や法面工事の具体的な技術について教えてください

当社が20年来力を入れているのがSD工法です。従来は仮設の足場を組んで、1トンくらいの機械を設置して穴を開けていましたが、我々は軽量の機械を使ってワイヤーを操作し、仮設足場を使わずに作業を行います。この軽量機械は200キロほどで、1トンの機械に匹敵する能力を発揮します。小型なので、高所や大きな機械が入れない場所でも作業が可能です。また、足場を使わないので、工事期間も短縮でき、工事費も安くなります。



ロックボルト/SD工法

一方で、狭い場所や高い場所でも作業が可能となった反面、機械操作のノウハウの習得に時間がかかりますが、研修期間をしっかりととり、ノウハウの伝承に力を注いでいます。

我々はこのSD工法の開発者ではありませんが、開発者と早い段階で知り合い、改良と一緒に取り組むことで、アイデアを出し合いながら洗練されたものに高めてきました。SD工法を取り入れているのは今のところ、滋賀県内では弊社だけです。ノウハウの伝承と新たな取り組みに挑戦することが我社の強みです。

施工にドローンを導入していると伺いました。昨年度は「国土交通省インフラDX大賞で優秀賞」や「近畿地方インフラDX大賞の特別優秀賞」を受賞されたそうですね。

昨年度は国土交通省のインフラDX大賞で優秀賞を受賞し、近畿地方のインフラDX大賞では特別優秀賞を受賞しました。全国トップの大手ゼネコンと一緒に表彰されたことは誇りに思っています。我々のSD工法にドローンを導入して3次元測量を行い、完成品の

形状を事前に立体的に可視化できるようにしました。デジタル化による作業の効率化と同時に安全性の改善にも繋がりました。

危険な工事をどれだけ安全に行い、若い人が嫌がらずに取り組める方法を考え続けてきました。最初はドローンを導入しても、どう使えばいいのかかわからず、試行錯誤しながらも投資を続け、若い社員が成長してきました。今では性別に関わりなく作業がしやすくなっています。

これらの取組の結果が国に認められて近畿地方で特別優秀賞を受賞したのだと思います。国土交通省のインフラDX大賞では一番にはなれませんでした、高い評価をいただきました。



商工会との関わりのある事業について11月7日と8日に展示会があるそうですね。住まいと建築不動産の総合展示会だそうですが、こういったものを展示する予定ですか？

木之本町商工会の時には、びわこ環境ビジネスメッセに、関連会社も含めて3年連続で出展させていただきました。商工会からは、新しい取り組みがあることに提案していただいて、とてもありがたく思っています。今回の展示会ではSD工法とドローン測量の展示を行いたいと思っています。法面にこだわらず、マンションなどの建物も3次元測量とSD工法を使って、改修できることも提案していきたいと思っています。

経営理念や今後の取り組みについてお聞かせいただけますか？

滋賀県は日本の中でも災害が少なく、台風も来る頃には弱まっていることが多い地域です。ただ、災害が少ないとはいえ、未然に防ぐための準備は必要です。滋賀県内での災害で人命が失われることがないようにすることが我々の目標です。この取組を近畿圏、さらには日本全体に広げたいと考えています。

今後の取り組みとしては、日本でできることを東南アジア、例えばフィリピンなど台風が多い地域で展開できないかと考えています。日本に限らず、世界に目を向け、国際的な舞台で活躍していきたいと思っています。

現在当社ではJICAの案件化調査に応募し、関門を突破し1年間の案件化調査を行いまとめ段階に入っています。現在、実証実験の段階に進んでおり、来年には本格的に取り組む予定です。これからもどんどん新しい事業に挑戦していきたいと考えています。

※このインタビューは令和6年10月11日(金)に行われたものです。

■事業所データ

- 住 所：〒529-0425 滋賀県長浜市木之本町木之本2008-12
- T E L：0749-82-3128
- F A X：0749-50-7399
- E-mail：info@sd-daisho.com
- H P：https://sd-daisho.com

木之本支部 ふるさと夏まつり

8月22日(木)から25日(日)にかけて、木之本地蔵大縁日が開催されました。期間中、大雨の日もありましたが、約10万人の参詣者が訪れ、活気に満ちた4日間となりました。支部役員様をはじめ多くの事業所様が有志として警備等で協力しました。最終日には恒例の花火が夜空を彩り、祭りは華々しく締めくくられました。



虎姫支部 大道芸フェスタ in 虎御前2024

10月14日(月・祝)、虎姫生きがいセンターで開催された「大道芸フェスタ in 虎御前2024」は、大盛り上がり的一天でした!晴天に恵まれ、有名な大道芸人たちのパフォーマンスが満載で、会場全体が笑いと驚きに包まれました。

メインステージでは、何度見ても面白いMr.BUNBUMのユーモア溢れるパフォーマンス、マジシャン紙磨呂の不思議なマジックショー、そしてperfumer LEOが華麗な技で観客を魅了しました。さらに、アストロノーツMark2が不思議な動きを見せて、来場者を楽しませていました。

今年のフェスタは、メインステージだけでなく、ストリートスタチューやバルーン教室など、ステージ以外にも楽しめるアクティビティが盛りだくさん!また、イベントブースやふれあい動物園、飲食店ブースも多くの来場者で賑わい、大人も子供も楽しむことができました。

家族連れや友達同士で訪れた人々は、普段は見ることの少ない大道芸を楽しみ、笑顔が絶えない一日となりました。



浅井支部 第23回長浜あざいあっぱれ祭り2024

本年8月31日(土)に開催を予定されていましたが「第23回長浜あざいあっぱれ祭り2024」は台風10号の直撃により中止となりました。

長浜市商工会浅井支部としても、例年多くの子どもたちを楽しんでいただく縁日ブースの準備に万全の体制を整えていましたが、九州地方をはじめ多くの地域で被害が出ている状況下での実行委員会の判断は大変難しいところがあったかと思われます。

ご協賛いただきました多くの地域企業の皆さまには心より感謝申し上げます。

本年度は残念な結果となってしまいましたが、次年度に無事開催された際には地域の皆さまに楽しんでもいただけるよう実行委員会のサポートに努めてまいります。



高月支部 観音の里ふるさとまつり

今回は40回記念イベントとしてデジタルスタンプラリーやオリジナル御朱印帳の販売などが行われ、大変賑わいました。高月支部として模擬店を出し、29名の会員が集まりました。射的、焼きそば、焼き芋など5品目を分担して販売し、久しぶりに顔を合わせたメンバー同士で近況を語り合いながら、地元の祭りを盛り上げました。親交を深めることもでき、有意義な一日となりました。



商業・サービス業部会合同講習会

商業・サービス業部会では、10月24日(木)にPOP未来図の伊坂光恵代表をお招きし、湖北まちづくりセンターにて「自分で書ける!売れるPOPの作り方」というテーマで手書きPOPの制作セミナーを開催しました。

このセミナーは、業績や集客アップに役立つ内容で、定員を大幅に超えるお申し込みがありました。

参加者からは「POPの構成の仕方がわかった」や「参加してよかった」などの声が寄せられ、大変好評でした。



建設業・工業部会合同講演会

10月3日(木)、グランパレー京岩で落語家の林家つる子氏を講師に迎え、「女性噺家の挑戦〜私の見つけた夢と路」と題し、講演会を開催しました。つる子師匠は、どんな職業や事柄でも恐れずに挑戦することの重要性和、周囲の応援が勇気を与える大切さについて、落語しながらの語り口で講演を行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。この後、つる子師匠による落語の時間を設け、参加者は終始笑顔に包まれました。

講演会の後には、建設業部会と工業部会の合同懇親会を開催し、部員同士の親睦を深める機会となりました。



観光飲食業部会視察研修

観光飲食業部会では、10月1日(火)に福井県小浜市へ視察研修に行きました。

まず、京極家の菩提寺である「常高寺」を訪れ、住職から寺の歴史や成り立ちについて詳しく説明していただきました。その後、寺院内を見学しました。

次に、「箸匠せいわ」を訪問し、木越祥和社長からリスクマネジメントについて貴重なお話を伺いました。その後、箸づくり体験を行い、参加者は終始笑顔が絶えない充実した一日を過ごしました。



退職金の準備を中小機構がお手伝いします

安心 安全 国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金に不安を感じたら
無理のない月額で積立をしたい

Be a Great Small
中小機構

制度の特長

①

**経営者のための
退職全制度**

②

**掛金は
全額所得控除**

③

**受取時も
税制メリット**

他にもこんな特徴があります。

- ・ 月々の掛金は1,000円から
- ・ 契約者貸し付けの利用が可能
- ・ 共済金の受給権は差押禁止

共済相談室 TEL. 050-5541-7171 【受付時間】平日 9:00~17:00

オンラインで加入申込み受付中

加入後の一部手続きもオンラインで可能。
掛金払込証明書の電子交付、掛金月額の増額減額、住所等の変更 など

小規模共済 検索

小規模企業共済制度の詳細内容は
2次元コード又はホームページからご確認ください。